

～次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

# 2024 JA佐渡の経営内容



写真：生産者が丹精込めた佐渡産の梅

## プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	26.8億円
総 資 産	1,223億円
組 合 員 数	16,166人 (正組合員7,172人・准組合員8,994人)
職 員 数	442人
店 舗 数	本店、支店7店

(令和6年5月31日現在)

※総資産については令和6年2月末現在です

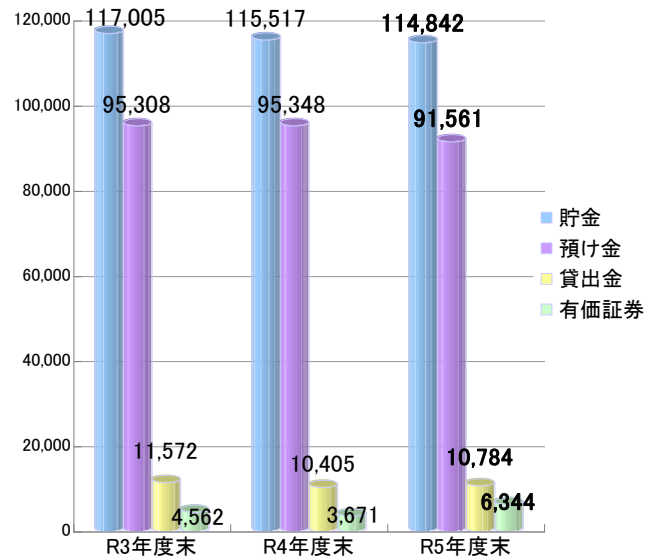
## 令和5年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

### 主要勘定の推移

(単位:百万円)

	R3年度末	R4年度末	R5年度末
貯金	117,005	115,517	114,842
預け金	95,308	95,348	91,561
貸出金	11,572	10,405	10,784
有価証券	4,562	3,671	6,344

- 貯金残高は公金の減少、相続貯金の島外流出により、前年比99.4%となりました。
- 貸出金は、新築等の資金需要が低迷する中、リフォームローンや住宅ローンの借換推進など有利な資金提案に取り組み、新規実行額は6億6,615万円、住宅ローン残高は58億3,487万円(前年比104.5%)と増加し、公的資金等大口融資の実行などから前年比103.7%となりました。
- 有価証券は、債券を中心に購入し、残高の積み増しを図りました。残高は計画比108.0%、前年比167.3%となりました。

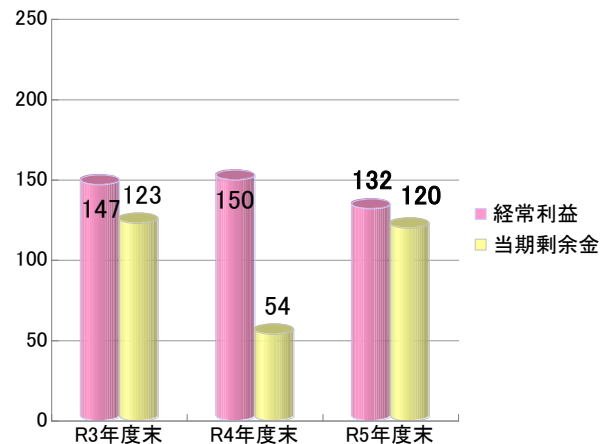


### 収益等の推移

(単位:百万円)

	R3年度末	R4年度末	R5年度末
経常収益	7,862	6,267	6,498
経常費用	7,715	6,117	6,366
経常利益	147	150	132
当期剰余金	123	54	120
未処分剰余金	176	93	183

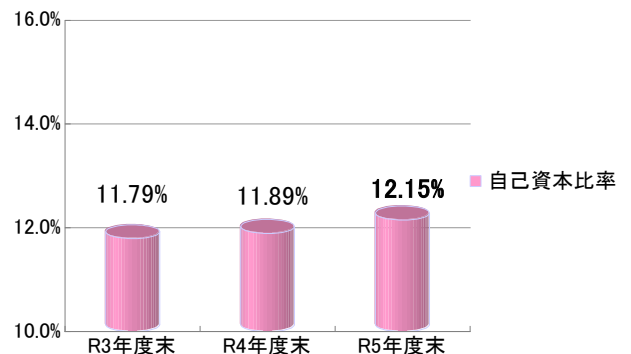
- 令和5年度の事業総利益は2,543百万円(前年度2,620百万円)となりました。事業管理費は2,484百万円(前年度2,543百万円)となり、事業利益58百万円(前年度77百万円)当期剰余金120百万円(前年度54百万円)となりました。



### 自己資本比率の推移

(単位:百万円)

	R3年度末	R4年度末	R5年度末
自己資本額(A)	5,776	5,750	5,782
リスクアセット(B)	48,989	48,335	47,566
自己資本比率 (A)÷(B)×100	11.79%	11.89%	12.15%



- 当JAの自己資本比率は12.15%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや内部留保に努めています。

### 自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万一方の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

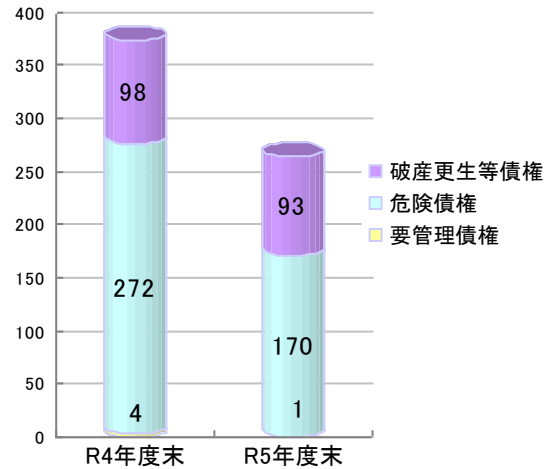
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 不良債権の状況

### 金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円)

	R4年度末	R5年度末
破産更生等債権①	98	93
危険債権②	272	170
要管理債権③	4	1
小計(①+②+③=A)	374	265
正常債権④	10,180	10,598
債権額合計(A+④=B)	10,555	10,864
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	3.54%	2.44%



## 開示債権と保全の状況 (R5年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況					
債務者区分	残高 A	担保等保全額 B	貸倒引当金 C	保全率 (B+C)÷A	
破綻先	0	91	38	100.0%	
実質破綻先	130				
破綻懸念先	188	137	38	93.4%	
要注意先	要管理先	2	1	0	95.6%
	その他要注意先	285			
正常先	13,136				
合計	13,743				

金融再生法開示債権 (経済債権を含む)	
区分	残高
破産更生等及びこれらに準ずる債権	93
危険債権	170
3ヶ月以上延滞債権	—
貸出条件緩和債権	1
正常債権	10,598
合計	10864

### 自己査定と保全の状況について

佐渡農協の基準により自己査定しております。

### 金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く三月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 有価証券の時価及び評価差額に関する事項

(単位:百万円)

保有区分	R4 年度末			R5 年度末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	2,098	2,109	10
そ の 他	4,624	4,562	△62	4,605	4,246	△358
合 計	4,624	4,562	△62	6,703	6,355	△348

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

## 地域経済・暮らしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

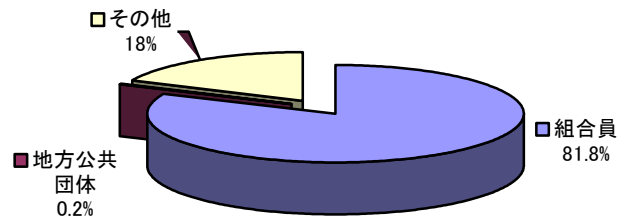
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長、土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様の暮らしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

## 地域からの資金調達状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	93,852
地 方 公 共 団 体	240
そ の 他	20,750
合 計	114,842

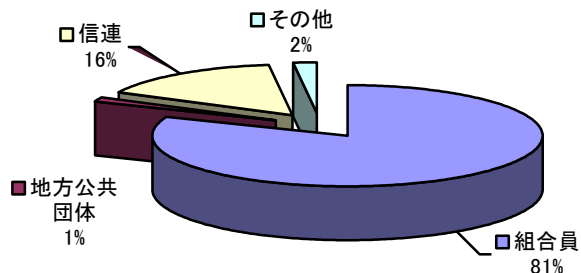


## 地域への資金供給状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	8,740
地 方 公 共 団 体	147
信 連	1,680
そ の 他	217
合 計	10,784



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせて営農指導員等、他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「農業経営アドバイザー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟またはJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

### 主な農業関係の貸出金残高（資金種別別）

〔貸出金〕

（単位：百万円）

種 類	R4 年度末	R5 年度末
プロパー資金	1,266	1,374
農業制度資金	148	126
農業近代化資金	77	64
その他制度資金等	70	62
合 計	1,414	1,501

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

## 自己改革の取り組み

第10次中期3カ年計画（令和4年度～令和6年度）「アクションプラン」に基づき、自己改革の実践に取り組みました。主な取り組みについて、次のとおり報告します。

### ◆農業振興等に関する取り組み

佐渡米の品質面では、登熟不足による未熟粒・背白粒等によりコシヒカリは1等米3%、2等米25%、3等米60%、規格外10%と過去にない結果となりました。米の販売高は39億7,671万円（前年比84%）となり、うち規格外米の買取販売高が2億5,797万円と例年にない内容となっています。佐渡米の取引先拡大のため、新規卸・米穀店への営業活動、また佐渡米販売懇談会を5年ぶりに実施し、佐渡産農畜産物のPR活動として首都圏での店頭販促のほか、佐渡産農畜産物の試食・商談会を開催しました。

おけさ柿は販売期間を通じて高単価販売となったことから4億7,060万円（前年比103%）となり、加工柿も原料確保に苦慮したものの1億3,114万円（前年比96%）の販売実績となりました。生産維持に向けた取り組みとして霜被害常発地である新穂地区16haの園地に防霜ファンを導入しました。

その他の果実は、猛暑等の影響から着果不良や日焼け果などにより出荷量が前年の半数以下となり、りんごは収穫前の雹害によりさらに減少し、販売高は7,196万円（前年比78%）でした。野菜は、猛暑湯水の影響から、アスパラガスやねぎ等の収穫量が大きく減少するなど販売高は4,488万円（前年比90%）となりました。

園芸生産団地造成の具体案の検討を進め、小木地区では、みかんを中心とした新規団地の造成予定園地が決定しました。今後は担い手の組織化等を含めて生産体制づくりをすすめてくとともに、佐和田・真野地区では施設園芸、露地野菜の団地化の計画をすすめていきます。

畜産では、高千家畜市場への出荷頭数の維持、後継牛確保に取り組み、CBSからの出荷頭数は、128頭と前年148

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



頭から減少したものの、市場出荷全体では 386 頭（前年 388 頭）となりました。繁殖牛では 1 名が新たに飼育を開始し生産者数は 46 件、繁殖牛 510 頭となっています。CBSでの受託も 28 頭（目標 30 頭）を受け入れ、生産支援に取り組みました。乳牛は暑さによる廃牛等があり、搾乳頭数 126 頭（前年 135 頭）、生乳量 1,165 t（前年 1,265 t）となりましたが、1 日 1 頭当たり搾乳量の維持に努めました。

◆農業経営支援の取り組み

Web 農業簿記のデータにより、「農業経営健康診断」「農業リスク診断」「品目別販売成績診断」の 3 診断活動を行い、約 60 件の対象者へ農業経営の「見える化」支援を実施しています。また、1 法人に対して担い手コンサルティングを試行的に実施し、対象法人からのアンケート等に取り組みました。

◆経営改善の取り組み

経営管理委員による経営改善委員会を定期的に開催し、次期 3 カ年計画に向け事業拠点再編等の議論を継続しています。また、CBS・和牛センターの運営改善によるコスト削減に取り組みました。

職員数減少の中でも営業と窓口体制をできるだけ維持できるよう、管理事務の合理化に取り組むほか就業時間・営業時間の見直しを行いました。

## これからも地域と共にある J A を目指して

当 J A では、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

- ◇A コープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に 7 店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。
- ◇農産物直売所 : 平成 26 年にオープンした J A 直営直売所「新鮮空間よらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、A コープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。
- ◇セレモニーホール : 増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内 2 か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。
- ◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内 3 か所に設けております。



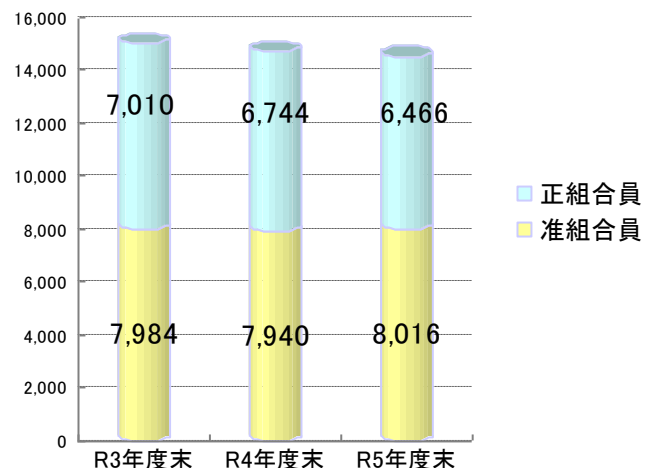
写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

★このように J A 佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

**組合員数の推移**

(単位：組合員数)

	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末
正 組 合 員	7,010	6,744	6,466
准 組 合 員	7,984	7,940	8,016
組 合 員 計	14,994	14,684	14,482



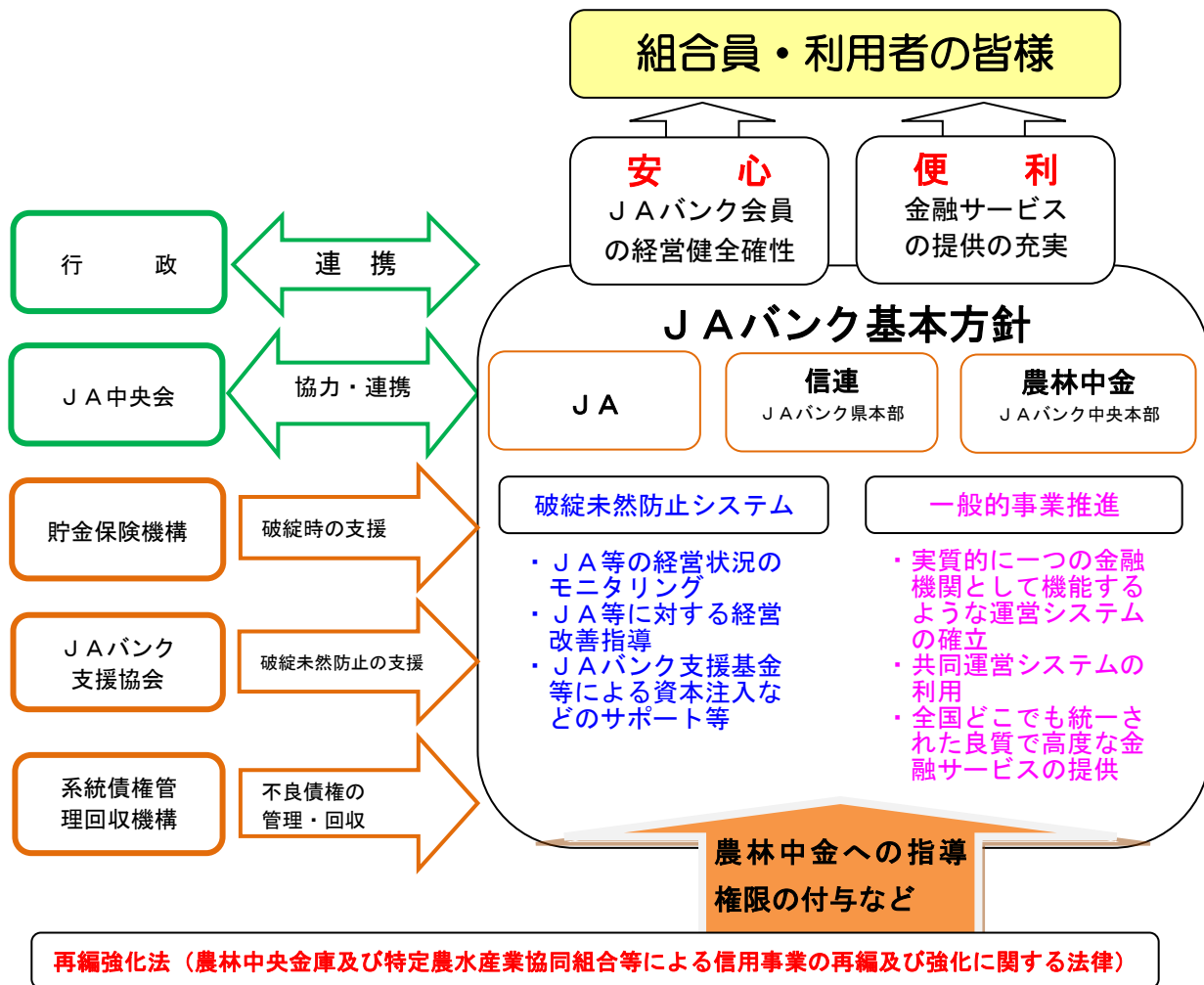
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

## JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



## JAバンク・セーフティーネット

### 破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

+

### 貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール [kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp](mailto:kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp)

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>



佐渡を世界遺産に

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。